

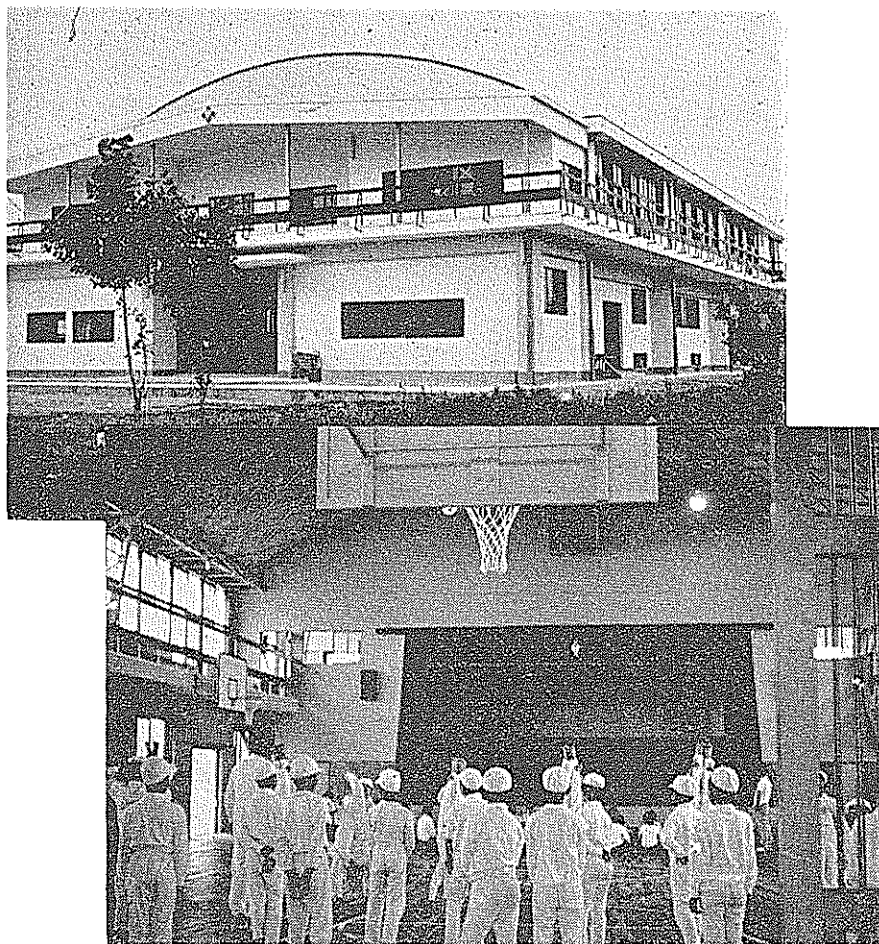


高知時報

第 67 号

昭和40年7月25日

編集発行
南 国 市 広 報 委 員 会
事 務 所
高 知 県 南 国 市 役 所 内
(電 2111)
印 刷 川 北 印 刷 株 式 有 限 公 司
(電 3151・有線155-11)



充 実 する 中 学 校

市内には七つの中学校があり、それぞれ教育の効果を上げていますが、市で最初に統合充足した香長中は、鉄筋三層建ての教室と、いまなお設備の充実が図られています。

ことしはじめにでき上がった屋

内体育館では、生徒たちの躍動する姿がみられ体位の向上に役立っています。市の北部には、北稜中学が統合充足することに決まり、こんご、したいに充実されてゆくことになっています。

実である。だが、高知県で交通事故があり二、三人死んでも、お隣の徳島の新聞にも出ないだろう。交通事故死はなんだかあまりにもあっさりあきらめすぎているようだ。もう少し考え直してはどうだろうか。事故する場合は半殺しにするな、いっぺんに殺してしまえとの声すら聴く。陸の交通事情は益々悪くなるばかりか、広い海上でも事故はだんだん多くなっている。これから進む方向は海中と空である。海中の事故は誰も知らぬ間に永遠に海底に沈むことであり、大空の事故は必ず地面に落下し、落下した場所に二次の事故を起す。便利な交通機関は益々発達するが、安全性の発達はどうも遅れているようだ、もうそろそろ安全性の発達のため人間は本腰を入れてもけっして遅くはない。



四國の、しかも土佐から言えば北海道は最も遠い地である。ここで殺人事件でもあれば全国の新紙紙上をにぎわすことは確

7月の人口

—6月の異動—

出生	40	死亡	36
転入	445	転出	292
6月末の人口		42,426	
世帯数		6月	
6月		11,223	

中小企業の脱皮を

田村良平

市民のみならずお褒り下さいませせんか、広報を通じ意見の一端を申しあげ、よりよい郷土建設のためご指導いただきたく存じます。

開放経済下世界経済の潮流は烈しく、日本全産業をゆすぶっている現状で特定地域のみがその風からさけることは許されません。さて、未来明るい田園都市として山と平野、川と海に恵まれた南国市は如何にして発展し得るか、私はまず地場産業開発の再検討に政治の重点を指向すべきだと思います。他方依存のみでなく、まず自身で立上るプランを自身で頑くべきだと存じます。最も手近かな農畜、山林、漁業などの生産、加工、貯蔵、販売の組織的経営への新構想をうち出すべきではないでしょうか。

資金対策としても現状から或は旧来の姿のまま、「如何にしてうまく金を借り出すか」に専念し、経営のみを近代化せんとしても肝心の経営指導の理念が旧態依然では前進はあり得ません。昨年東京市場では千葉のトマトは十億円売り上げでトップに立ちました。これは指定産地制と全県プール計算制確立がこの成果となったものと思われまます。

茶の静岡がハウスに転換する背後に何かあるか、関雲王國正にピンチにありと云うべきでしょう。事業の健全な育成対策、安全に伸びる環境対策、こうした基本的要素を細く分析し、「能率的経営の向上」そしてその根本たる人間性の開発を十分検討することこそ今

「交通事故」をなくしよう

本年度南国警管内交通事故発生状況

月別	発生件数	死者	傷者
一月	六	〇	二
二月	六	〇	二
三月	六	〇	二
四月	六	〇	二
五月	七	一	三
六月	七	〇	三
七月	八	一	三
累計	四二	一	一五

七月中の事故原因を大別するとつぎの表のとおりスピード違反に よる事故が多く起きています。

- 速度違反 八件
 - 酒酔い運転 二件
 - 無免許運転 二件
 - 無理な追越し 二件
 - その他 五件
- これを車種別にわけますと、つぎのとおりです。
- 大型貨物自動車 五
 - バス 〇
 - 小型貨物自動車 五
 - 乗用自動車 四
 - 自動三輪車 一
 - 自動二輪車 〇
 - 軽自動車 七
 - （軽二、軽三）
 - 原動機付自転車 五
 - （二種、二種）
 - その他 五
 - （汽車、電車、自転車）



本月の特異な交通事故としては去る七月十九日、七時三十五分頃、南本の国道で、大型ダンプカーが、大型バスに衝突するという事故がありました。これは、石灰石を積んだ大型ダンプカーが、停留所で発車して間もないバスに、スピードが出すぎていたためと、バスのすれ違い時における安全の不確認が原因で

つぎに「盛夏の運転」について申しますと、夏は身体が非常に疲れやすいので、自動車を運転する方は、健康管理に十分に注意して下さい。夏の交通事故は、このような疲労による居眠り運転などの事故が多く起きますので、長距離を運行される方は、途中で休憩する時間も十分に見込んで、無理のない計画を立てましょう。

交通安全作文

稲生小五年 岡田健二

「ウー、ウー、ウー」にサイレンを鳴らしながら、けい察の自動車が目も走って行く。また、事故を起こしたところだろう。みよにいやな気持ちがする。近ごろ自動車やオートバイが多くなり、目まぐるしいほど走るので、道を歩いているとおそろしい。むちゃくちゃにスピードを出しているものもある。そんなことで交通事故が多

坂本竜馬と才谷部落

南国市の北辺、国道三十二号線に添って才谷という市民に余り知られていない山間の部落がある。ここは坂本竜馬先代の地として史談に志す人々が、苦むす墓石ににじみでる勤皇の志を感じながら、回昔の念を察し難く、しばし時を惜しむ処である。



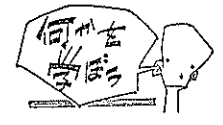
どうしてこの地に史跡が生れたか、部落に伝わる口碑と、歴史家にひもどかれた文献をもとにしていささか述べてみたい。

ころはいまをさかのぼること四百年の元龜、天正のそのむかし、豊前秀吉が千成びょうたんの馬印をおしたてて東海道を東へ近江路にさしかかったとき、これを迎えうったのは光秀とこころ（監股）の隘。明智左馬之介光俊（光春、光昌、光遠の別名あり）であったが、武光遠の別名ありであったが、武運つたなく永徳の画きし黒絵の陣

羽織りを吹きおろす比叡おろしにひるがえし、愛馬大鹿毛にむちをあてびわ湖を乗り切り、「湖水渡り」の名曲となりいまを残り残さされている。坂本城に退き自ら城に火を放ち壯烈な最後を遂げた。

ときに幼児を抱いた光俊の愛妻は、西国にのがれて余生を送ることとなり、それがため縁故の地として名家の落人の住む才谷を遷らび、数名の家臣をともい野を過ぎ、山を越えて屋根伝いに当時うっそうたる樹海にみちた、当部落

抱き育てたその子、（即ち竜馬より数えて十代のむかし）、は初代坂本太郎五郎である。彼の墓地は才谷部落字大坊（むかし延福院佐比古寺跡）にある、碑は一辺六十センチ一層の角石をつつろとし、前方は石の二枚の開閉扉でむし、上方は立軸子型の大石で覆ってある見事な石室の中に安置され坂本太郎五郎墓とあり、二代彦三郎、



徳川八代將軍 吉宗はまれな名君であった。あるとき將軍が大奥に行つたとき御鏡口で小姓衆の刀を奥女中に渡すとき、互に手を取り合ったのを見て、中腰になつてしかも小声で「たびたびするなよ」といったので双方とも驚き平伏し共に其の寛大な情に涙を流し互に忠節を尽して奉公したということである。

紙面の都合で詳しく述べることのできないのは残念であるが、維新の風雲児竜馬の血は才谷川の清流より流れていることを南国市の誇りの一つとして頂きたい。

（才谷 剛英明）

正面衝突し二十一名の負傷者を出すと、大きな事故でした。もちろんこの事故で、ダンプカーもバスも前部は大破し、当時の恐ろしさを物語っています。（写真参照）

みなさんこのように、ちょっとした油断や不注意がこのような大きな事故を起す原因となりますので、車の運転中は充分慎重に無理のない安全な運転をいたしましょう。

回収箱へ

少年補導センター

赤痢の流行は季節を問わない

昔から伝染病の横綱と云えば、チフスと赤痢の二つがあげられてきたが、最近では、チフスの姿は消えたものの、赤痢は今なお猛威をふるっている。しかも近年の発生状況を見ると、夏だけの伝染病ではなく、冬や春にもふえてきている。

昭和二五年には、一年内の七〇%が、夏の七、八、九月に発生し冬には三%位しかなかったものが三四年になると一月だけでも四%の発生があり、逆に夏の各月は、一〇%以下となっている。

この十年間には、夏の患者がへつて、一月と春に多くなり、昭和三八年二月には、和歌山県に四五〇名、同じく広島県に三〇七名、同年五月には、帝國ホテルの集団発生があった。本県においても、本年五月に多数の発生があり、いずれも、冬から春にかけての集団発生が多い。

赤痢菌は種類が多いが、これを大きく三つに分けると、志賀赤痢菌、フレキシネル菌、ソネ菌であり、その病原力は、志賀菌が最も弱く、ソネ菌が最も強い。赤痢菌は、大腸菌の糞便の中に生存し、尿中には存在しない、糞便が唯一の伝染源となるので、便槽の消毒、蠅の駆除が大切である。

集団発生時には、食中毒と赤痢

の鑑別がむづかしいが、食中毒の場合には、急激におこる嘔吐、発熱、悪発とはげしい腹痛がある。赤痢の場合は下痢便に、膿や血液が含まれ、テネスマス(排便後も便意を催す状態)や、左下腹部疼痛などがある。決定は、細菌や直腸検査をしなくてはならない。赤痢は、チフスと異り、予防ワクチンが一般化されておらず、その上一見、健康者とみられる中に、保菌者の存在することも、赤痢撲滅のむづかしい一原因であらう。料理や、給食に従事される人たちは保菌者のあることを自覚され、年に二回位の検便をすすんで実施していただきたい。

最近抗生物質の出現により、家庭療法でしまつてする者が多くな動車がチエンを後にたらしめて走っているのは静電気を地中にがすためである。若し電気を通すゴムを發明しタイヤを作ればチエンは不用になる。又このゴムに小さな孔を明けて皮の如く通気性を持たし、これで長靴や手袋を作れば汗でむれず世の人々から喜ばれ、發明者は金山を發見したことになる。金山を發見することは何も山の中とは限らず、身近にころがっているものだ。鉄空(ロケット)

金山發見法



ここ当分の間科学がかなり進んでも金で使用されている間人間は金を儲けるために働くだろう。一やく大金持ちになるためには發明が手取り早い。雨の降る日の自動車の運転はワイパーで水をかき落してもどうも具合が悪い。雨が当れば水が玉になってころりころりと落ちれば文句なしである。運の葉やたいも

の葉に水をかけると玉になってころりと落ちる。多分表面に生えている小さな手のようなもののためである。ガラスの表面をこれと同じにすれば億方長者間違いないのである。

夜間の運転は前の車のライトがまぶしくて運転がやりにくい。若し前方の光は見えず自分の光だけ見えるガラスを發明すれば自動車はもろろん、これで眼鏡を作れば儲かってしかたがないだろう。自

ったようであるが、菌にも抗生物質に対する抵抗力ができ、効果のすくないものもあるので、ぜひ、初期に医師の治療をうけることが大切である、隔離病院の治療費は公費でまかなわれ、無料であるが患者は、なにか罪人あつかいをうけるような感じをもたれるためか進んで治療をうけたがらない傾向がある、とかく日本人には、公衆衛生に関する道義感がうすいが、あらためたいものである。

心臓を落とす

暑さのせい、このほど正午ごろ市の少年補導カーに乗った南園署・西園捕房ら、市役所三和支所前の県道にオート三輪以上の車に付ける、ガソリンタンクが落ちているのを發見した。約四十リットル入っており、遺失物として署に持ち帰った。三輪以上の車になるとタンクから吸引しなくても、キャブレターなどにたまつた分で百メートルほど走れるが、当時現場付近の道の路でもタンクをなくしてエンコしている車がなかった。

それに運転経験者たちは、タンクが落ちたら気がはずだが、と評判した。しかし、そのころ南園署に届けたものがなく、真昼の怪事件?とうわさされた。

行政指紋登録



南園署は国立高知工業専門学校第二章の要望で、このほど二年生、新職員計百三十六人の行政指紋を採取しました。

同校は昨年から自発的にやっており、全員が登録して置く方針。写真は工専校の指紋採取風景

毎月第一日曜は

家庭の日です。